

令和4年度 北海道社会教育主事会協議会研究テーマに係る実践報告書

釧路管内	鶴居村
<p>●実践の概要</p> <p>鶴居村イルミネーション事業の実施</p> <p>概要：鶴居村商工会が主催となって実施している役場庁舎前でのイルミネーション事業。例年は、鶴居村商工会及び鶴居村イルミネーション実行委員会メンバーで、配置や飾り付けなどを行っている。今年は、村内の子どもたちの交流機会の確保や鶴居村商工会の活動を地域住民へ知ってもらうために、子どもから大人にかけて飾り付けを手伝ってもらえるスタッフを募集した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：令和4年11月27日（日） 合計31名（大人14名・子供17名） ・対象：鶴居村商工会、鶴居村役場、鶴居村教育委員会、鶴居村観光協会、民間企業、村内小・中学生、保護者 ・内容：三角錐への飾り付け（LED電極の巻き付け（2色）、イルミネーション飾り付け） ・主な連携・協働内容：子どもから大人にかけて、自分の考えや意見を伝えながら、一つひとつ丁寧に飾り付けを行い、地域住民の交流や地域力の向上につなげる。 	
<p>●実践に至るまでの経緯・準備したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経緯 <p>鶴居村商工会より、子ども同士の交流の場を作ってあげたい、地域住民の手で作り上げるイルミネーション事業にしたいという要望があった。</p> ・準備に向けての段取り <ol style="list-style-type: none"> 1. 鶴居村内各小・中学校に参加者募集の案内を送付した。 2. 村内へのIP告知放送で活動の周知を行った。 	
<p>●実践で難しいと思ったこと・困っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の加入者は多いが、打ち合わせ時は、特定の人しか参加しないため、前年度と似通ったイルミネーションのお題になってしまう。 ・予算額が限られており、イルミネーションの素材も少ないため、人手が多いと飾り付けがすぐに終わってしまう。 	

●改善のアイデア

- ・ Zoomなどで忙しい人でも参加できる時間帯で、打ち合わせなど開催する。
- ・ 若い人たちのアイデアや意見も取り入れていきたいため、若い世代の人たちへの、協力要請や呼びかけを行う。
- ・ 飾り付け+αの活動へと転換する（三角錐の設置、配線を電源へつなぐ作業）。

●実践での行政職員の関わり

- ・ 鶴居村商工会と村内小・中学校のパイプ役
- ・ 実行委員会への積極的な参加
- ・ 関係団体との連携体制の強化

●実践後の対象の変容

- ・ 地域住民の地域活動参加に対しての、ハードルを下げる事が出来た。
- ・ 子どもたちの体験活動や交流の場を作ることが出来た。
- ・ 実行委員会の企画・計画力の向上につながった。

●実践から導き出された社会教育行政職員の役割

- ・ 連絡体制の強化 ・ 企画提案力 ・ 団体への呼び掛け・育成
- ・ 子どもたちのふれあいの場の確保 ・ 関係団体との調整役